

300台限定 ギッツHAPPY TUNEで キミもハッピーにならないか?



ホワイトに塗装されたインパネとカラフルなパーツのコントラストにより、楽しい雰囲気が演出される。オリジナルオーディオも標準装備。

Photo.EDITORIAL NETWORK

東京オートサロンに出品されたギッツ「ハッピーチューン」。市販時にはヘッドランプガーニッシュが廃止される以外は、とくに大きく変わる点はないようだ。

Photo.MPS

■ ギッツHAPPY TUNEの特徴 (編集部予想)

外観

- ・専用ツートンボディカラー(グリーン/ホワイト)
- ・ボディ同色フロントグリル
- ・専用フードエンブレム
- ・リアオーバーフェンダー
- ・カラードホイールキャップ
- ・バックドア専用マーク(車名&CIエンブレムはなし)

内装

- ・ホワイト内装トリム
- ・ホワイトシートカバー(グリーン玉縁つき)
- ・HAPPY TUNE専用オーディオ(MD、CD一体AM/FMカセットステレオ&2スピーカー)
- ・ホワイト塗装インパネ
- ・グリーン塗装センタークラスター
- ・オレンジ塗装メータークラスター
- ・オレンジ塗装空調吹き出し口
- ・シルバー塗装ヒーコンスイッチ
- ・ホワイト革巻きステアリングホイール
- ・ホワイトメーター
- ・ホワイトフロアマット

その容姿はオートサロン出品車と同じく、エメラルドグリーンとホワイトのツートンカラーに身を包み、オーバーフェンダーやカラードグリルでアクセシブな雰囲気強調。バックドアには通常のトヨタマークと「Vitz」エンブレムの代わりに、「ハッピーチューン」「Franc franc」、そして特装作業を手がけるトヨタ・モデリスタのマークが装着される。

もちろん、これだけにとどまらず、7月14日にスタートしており、すでに予約を受け付けているディーラーもあるらしい。気になる読者は早速最寄りのネット店に声をかけてみよう。何しろ限定300台だから、迷っているヒマはないゾ!

2

月の東京オートサロンで披露されたカワイイ特装ギッツ「ハッピーチューン」が8月3日、待望のデビューを果たす。ハッピーチューンといえばパイオニア製のマイクロコンボを連想する読者も多いだろうが、今回の特装モデルはパイオニアの提供を背景に、インテリア用品や生活雑貨でおなじみの「Franc franc」(フランクフラン)とトヨタがタイアップして企画された限定モデルなのだ。

い。ドアを開ければ、そこには前代未聞のファンシーな世界が広がっているのだ。ホワイトに塗装されたインパネを核に、オレンジ色のクラスターやスイッチがアクセントとして添えられ、「ハッピーチューン」オーディオも装備される。また、ホワイトのシートカバーとトリムにより、若者好みのアメリカン・ルックも実現。まさに、ガングロ、姉ちゃんが喜んで買いそつな1台なのだ。

SCOOOP 10